

令和7年6月10日

泉佐野市 報道提供資料

タイトル	泉佐野市東佐野台地区汚染井戸周辺地域調査の結果について
と き	令和7年6月10日（火）午後2時 提供
と ころ	井戸（泉佐野市東佐野台、別添「検出場所（地図）」参照）
内 容	1. 概要 令和6年12月に熊取町大久保東地区にて発生したPFOS及びPFOAの基準超過を受け、本市でも大阪府及び熊取町と連携し、地下水の汚染範囲の確認を行った。その中で泉佐野市東佐野台地区の井戸におきまして、暫定目標値の超過が確認された為調査範囲を拡げ調査を実施した。 2. 調査内容 令和7年5月13日、関係機関により「熊取町大久保西地区地下水質汚染地区対策会議」を設置し、汚染原因の調査や汚染範囲の確認のため、汚染井戸周辺地区調査として周辺井戸の所在及び利用状況、周辺事業場の対象物質使用状況、地下水質について調査を実施した。調査区域は、暫定目標値を超過した地点（以下「井戸A」という。）から半径500mの区域（以下、「調査区域A」という。）とした。 3. 調査結果 調査区域Aにおいて井戸の所在が確認されなかったため、さらにその周辺を調査したところ、2本の家庭用井戸が確認された。これら2本の井戸において水質調査を実施したところ、暫定目標値を超過した井戸はなかった。 調査区域A及び周辺において、今回汚染の原因となりうる対象物質を使用している事業場は確認されなかった。 今回の調査において、飲用に供されている井戸はなく、健康被害の情報もなかった。なお、泉佐野市が給水する水道水は、暫定目標値以下であることが確認されており、周辺の井戸所有者に対し、飲用には供さず、水道水を利用することを周知した。 4. 今後の対応 水質調査の結果、調査区域Aの井戸Aにおいて暫定目標値の超過は確認されたものの、その周辺においては暫定目標値以下であり、新たな汚染の広がり確認されなかったこと、また、井戸Aにおいて対象物質の使用は確認されず、調査区域Aその周辺において汚染原因となりうる事業場は確認されなかったことから、これまでの調査結果をとりまとめ、汚染原因は不明として調査を終了する。
担当課	生活産業部 環境衛生課 （TEL:072-463-1212 内線 2281）
問合せ先	担当者名 林 （TEL:072-463-1212 内線 2281）

1 調査機関

泉佐野市生活産業部環境衛生課

2 対策期間

令和 6 年 12 月 26 日～令和 7 年 6 月 10 日

3 調査区域

超過井戸 A から概ね半径 500m の区域とその周辺を対象とした。

4 調査結果

(1) 井戸利用状況

超過井戸 A の地点から概ね半径 500m の区域とその周辺においては、飲用に供していない家庭用井戸が 2 本確認された。なお、事業場井戸は確認されなかった。

(2) 地下水質調査結果

調査区域において確認された 2 本の井戸について地下水質調査を実施した。水質検査項目は水質管理目標設定項目（要監視項目）である有機フッ素化合物（PFOS 及び PFOA）とした。調査結果の概要は、表-1 及び図-1 のとおりである。

表-1 調査区域 A の井戸における地下水質調査結果

	井戸 A	井戸 B	井戸 C
PFOS 及び PFOA	<u>68 ng/L</u>	45	43
PFOS 測定値	16 ng/L	4.9	12
PFOA 測定値	52 ng/L	40	31

__：暫定目標値超過

暫定目標値	PFOS 及び PFOA は、水質基準項目に準じて検出状況を把握し、水道水質管理上留意すべき項目である「水質管理目標設定項目」として令和 2 年 4 月 1 日に位置づけられ、その暫定目標値は「PFOS 及び PFOA の合算値として 50 ng/L 以下」となっている。
備 考	

図－1 「検出場所（地図）」



地理院地図（国土地理院ホームページ）